

高森町議会だより

絆

PARLIAMENTARY INFORMATION

令和4年5月発行
No.85
3月定例会



3月定例会……………	2
町政を問う(一般質問)……………	6
常任委員会報告……………	8
第1回・第2回臨時会……………	10
町民の声……………	11

町道西原・日ノ尾峠線「サクラミチ」

令和4年 第1回3月定例会

(令和4年3月9日開会)

令和4年度 一般会計予算

70億8,300万円

前年対比 17億5,900万円増

国・県補助活用事業

無電柱化推進計画事業

高森駅周辺の町道は多くの町民等に利用されているが、路肩の電柱が通行の妨げになるとともに、電柱・電線が景観上支障となっている。安全で快適な通行空間と良好な景観を確保し、災害時の防災機能向上を図るため無電柱化を実施する。(県道高森停車場線については県事業にて実施)

【計画路線】

- ①下町・昭和1号線 ②下町・昭和2号線 ③色見環状線
④高校西通線 ⑤上在・昭和線 ⑥高森駅前線 ⑦駅前・下原線

令和4年度は無電柱化詳細設計を実施予定

事業費	補助額	過疎債	交付税措置額	町の実質負担
5,000万円	3,135万円	1,860万円	1,302万円	563万円



現状



完了(イメージ)

色見環状線

南鉄復興応援基金活用事業

南阿蘇鉄道接続強化経費負担金

アクセス利便性向上や南阿蘇地域への観光客誘致を目的に、南阿蘇鉄道のJR豊肥本線肥後大津駅への乗入れを目指す。

【事業内容】

乗入れ実施に係る線路や信号設備等の工事費を国(1/3)、県(1/3)、南阿蘇村・高森町(1/6ずつ)で負担する。(総事業費:3億9,590万円)

事業費	基金繰入額	町の負担
8,085万円	8,085万円	0円

ふるさと納税活用事業

ふるさと応援学生寮整備事業

令和5年4月に開講する高森高校漫画関連学科の生徒や高森中学校剣道部など、町外などからの生徒を受け入れるための町営男子寮を整備する。

【事業内容】

旧高森高校寮を大規模改修し、42名の男子生徒を受け入れ予定。

※今後、空調整備、備品購入等の事業費が追加予定。

事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
1億2,842万円	1億2,842万円	0円



旧高森高校学生寮

社会福祉協議会周辺及び横町子ども公園整備事業

老朽空き家解体事業により空き地となり、所有者からの寄附等により町有地となった箇所を整備する。

【社協周辺整備】

有事の際に車中避難等にも対応できる地域の防災拠点として整備を行うとともに、横町子ども公園利用者の駐車場としても利用する。

【横町子ども公園整備】

子ども向けの遊具や遊歩道を設置し、地域の憩いの場として再整備する。

事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
5,580万円	5,580万円	0円



横町子ども公園

南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発事業

【事業内容】

①駅周辺再開発第2期工事：2億6,550万円

情報板整備、防災施設、緑化・照明整備など

②新駅舎工事：2億7,622万円

新駅舎、管理業務委託、備品購入

③再開発整備エリア内の外構土木工事：2,200万円

駅前広場、駐車場



工事中の高森駅周辺

事業費	補助額	ふるさと応援寄附金	町の負担
5億6,772万円	2億4,091万円	3億2,681万円	0円

ふるさと納税活用事業

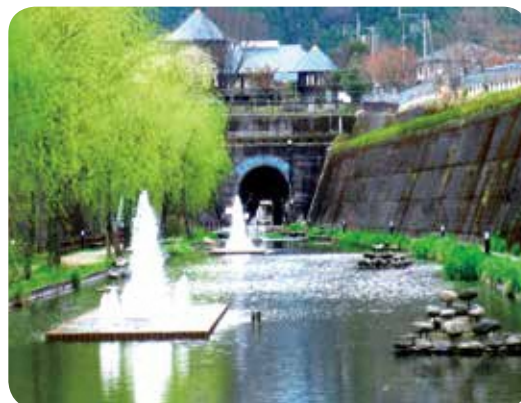
湧水トンネル公園にぎわい再生事業

湧水トンネル賑わい再生検討委員会からの提言を受け、最も集客が出来る観光スポットである湧水トンネル公園の大幅なリニューアルを行うことにより、入園者数の増加などを目指す。

【事業費】

- ①トンネル外公園改修（設計・監理含）：2,260万円
- ②トンネル内部リニューアル：2,000万円

事業費	補助額	ふるさと応援寄附金	町の負担
4,260万円	2,000万円	2,260万円	0円



湧水トンネル公園

高森高校「漫画関連学科」開講準備プロジェクト

高森高校に開講する漫画関連学科について、新入学生の確保対策及び学習・学校生活環境の整備に着手し、町内外へ広くPRを行う。

【事業内容】

- ①漫画制作機材導入及び学習環境整備：2,474万円
- ②高森高校生徒募集PR用プロモーション動画制作：300万円
- ③ふるさと応援女子学生寮設置：7,500万円
- ④高森高校第2グラウンド施設活用整備設計及び工事：1億4,404万円

事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
2億4,678万円	2億4,678万円	0円



漫画関連学科開講PR

令和3年度一般会計補正予算（第15号）

4,175万7千円を減額

予算総額 90億161万8千円

※主に各事業の最終調整などによる減額補正

令和4年3月定例会 主な質疑応答

議案第8号

辺地に係る公共的施設の整備計画の変更について

質 〔後藤三治議員〕

片山・下山線道路整備事業について、最終的に竹田市につながるのか。

答 〔町長〕

この計画は、当初竹田市となぐというところでスタートしたわけではない。執行部としては、何らかの形でつなげる努力をやっていたと考えている。

議案第13号

高森町避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について

質 〔芹口誓彰議員〕

どういった情報を要支援者名簿に記載するのか。また、名簿の管理方法について伺う。

答

〔住民福祉課長〕
氏名、性別、電話番号、避難経路などを記載する予定。管理方法については、個人情報を守るため関係機関と十分協議していく。

議案第27号

令和4年度高森町一般会計予算について

質

〔立山広滋議員〕

高森高校漫画関連学科開講準備プロジェクトについて、町として今後高森高校をどのような形にもっていくのか町長の所見を伺う。

答

〔町長〕

子どもたちの夢を実現するために、中長期的に環境整備をバックアップする。最終的には、現在の生徒の倍もしくはそれ以上の目標に向けて進めていく。

質

〔後藤三治議員〕

マイナンバーカード取得促進事業が計上されているが、高齢者がマイナンバーカードを作ってどう活用していくのか、必要があるのか伺う。

答

〔住民福祉課長〕

健康保険証との紐付けが始まっており、これから銀行口座や郵便局口座などの口座登録も始まる。これにより、国の給付金など早く受け取ることができる。また、本人確認の証明書類として使用できることから有効に活用できる。

質

〔後藤三治議員〕

車両免許返納者へのシニアカー貸し出しが行われているが、幅広く利用促進はできないか。

答

〔町長〕

シニアカーの利用に関して、町としては最大限緩くやっている。外出機会と交通弱者のためという事で、免許返納予定者の方まで拡大している。

質

〔後藤三治議員〕

高森高校漫画関連学科の環境整備について、今後期待される効果などについて伺う。

答

〔町長〕

夢がある県立高校、地元南郷谷に必要な高森高校というところが、

数年後さらに注目されるのではないかと。そして、将来過疎化する高森町をしっかりとバックアップしてくれる人材に育っていくのではないかと。ところが一番大きなところと考えている。

質

〔津留智幸議員〕

間伐材流通経費の一部助成において、出荷先の制限などはあるのか。林業者は、少しでも単価の高いところに出荷したいという思いがある。とても良い事業だと思うので、周知を徹底的に行っていただきたい。

答

〔農林政策課長〕

出荷先として限定はないという情報を得ている。



伐採状況

一般質問

12月定例会一般質問回答の確認

「一般質問の削除は、議長が主導で行った事を確認」このことに対する町長の見解は

町長 議論されたことを真摯に受け止める



質問 一般質問の一部を削除し放映されたことにつき、12月定例会で、町長に答弁を求めたところ、「編集や削除の指示はしていない。議長及び議会運営委員会が判断された。」とのこと

から、12月22日、議長及び議会運営委員長宛、書面で回答を求めた。議会からは「議会としては書面での回答はしないことに決定。」との報告を受け、1月24日、面会での回答を求めたところ、「町長の答弁のとおりである。」ことを確認した。さらに議長からは、「あなたが一般質問で個人名を出された議員さんから、再放送でまた個人名が出てくるのに抵抗があるとの申し出を受け、最終的には議長が判断し、再放送を行った。」との回答をいただいた。そこで、ポイントチャネル放送責任者である町長の見解を伺う。

町長 議会運営委員会です最終的に判断したというところは変わりない。

2元代表制議会のあり方で議会運営委員会が議論されたことを、真摯に受け止める。

今後も引き続き議会の方で議論していただいて放送に関することもアドバイスをいただければというふうに考えている。



後藤 三治 議員

3 人の 熱 弁

津留 智幸 議員

スポーツ振興策

少子高齢化を踏まえた阿蘇広域での対策を

町長 高森町がリーダーシップを担っていく



質問 今後のスポーツ振興策の財源確保をどのように行うか。

総務課長 ふるさと納税寄附金や企業版ふるさと納税寄附金を活用する。

質問 阿蘇郡内のバスケットボール普及を目的に多額の寄付があつたが、具体的な取り組みは。

教育委員会事務局長 ロアッソ熊本と連携した取り組みの経験をもとにプロバスケットボール『熊本ヴォルターズ』と連携協定を結び、指導者の派遣や



阿蘇ジュニアユースチームのスクールを展開する。
質問 少子高齢化を踏まえ、スポーツ振興策の対象者を町民だけにとどめず、施設の供用など阿蘇広域での施策を高森町がリーダーシップをとり、推進していくことは出来ないか。
町長 阿蘇市町村会の会長としてリーダーシップをとっていくが、阿蘇広域議会での調査・提案、近隣議会との議論など事前の調整を行っていただきたい。

町政を問う

後藤

蔵議員

3人の熱弁



公共交通の現状と今後の運用

南阿蘇鉄道と二次交通のアクセス向上は

町長

住民・観光客の利便性をそれぞれに充実させていく

町長 二次交通については、地元住民の方と観光客が使い勝手よく

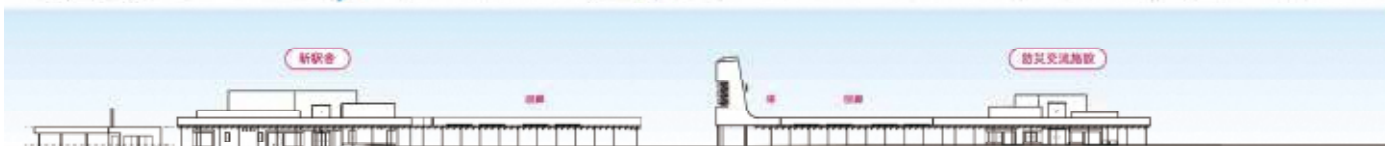
質問 観光客の利用や維持費を考えれば南阿蘇村も含めた中で公共交通を考えていく必要があると思う。高齢者の外出機会の創出を考えるなら、乗り合いタクシーよりタクシーチケットの配布が良いと思われるが。

推進課長 高森駅を交通結節点として整備することで機能強化を図り、地域住民や観光客など様々な利用者の利便性向上を図っていく。南阿蘇鉄道からバスやタクシーへのネットワークの構築を進め、ニーズに対応した見直しを地域公共交通会議等で協議していく。

質問 南阿蘇鉄道利用客の二次交通利用推進策は。

一体型で利用するのが良いと思うが現実上どうかと思う。南阿蘇鉄道の予測として25万人以上の乗客を見込んでおり、まずは各々に充実を図り評価に繋げていこうと思っている。南阿蘇村とのバスの共同運行については互いの町村の利便性向上、コスト削減にも繋がっていくので議論を進めて行くべきではないかと考える。タクシーチケットの件に関しては、公正に利用できるように商工会や観光協会が企画・発行し、皆さんが使っていたくようにすれば補助金を出していく方法も考えられるのではないかと。公共交通や観光施策に関することを担ってくれるベンチャー企業や若い世代の企業の方が出てくることで、より利便性が増していくと考えている。

高森駅周辺整備事業



総務文教常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された議案「辺地に係る公共的施設の整備計画の策定について」「辺地に係る公共的施設の整備計画の変更について」「高森町課設置条例の一部改正について」「高森町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について」「高森町国民健康保険条例の一部改正について」「令和3年度高森町一般会計補正予算について」「令和4年度高森町一般会計予算について」「令和3年度特別会計補正予算、令和4年度特別会計予算について担当者から詳細に説明を受け審議した結果、すべての議案を可とした。

◎令和4年度高森町一般会計予算について

【主な質疑事項】

質 社協周辺整備事業で境界が区切っており隣地との往来は出来ないのか。

答 普段は鉄柱バリケードで往来不可にするが、緊急時や状況に応じて変更できるものとする。



社協周辺整備

質 地域おこし協力隊独立補助金の活用状況は。

答 令和4年度は鉄道に関する飲食店の開業や、ハープ蒸留所の建設・商品化など予定されている。

質 移住定住に向けた取り組みについて。

答 町全域の空き家調査を実施し、計画の策定や協議会設立に向けた準備を進めている。



空き家調査

質 タブレット図書館の端末レンタル方法は。

答 役場や各出張所など端末を保管・管理できる場所でのレンタルを想定している。今後は公民館や駅舎などの公共施設でのレンタル体制を構築したい。



高森町タブレット図書館開始式

質 高森高校第2グラウンドの県からの譲渡について。



高森高校第2グラウンド

答 県財産審議会を経て県議会において審議される見込みである。随時町議会には進捗状況を報告する。

質 5歳から11歳のワクチン接種について学校の対応は。

答 あくまで任意の接種であり保護者を含めた家庭でよく話し合ってもらい、学校でも接種の有無に関わらず配慮をしていく。

質 学校給食の献立に天草産の水産物を提供しては。

答 天草・高森横軸連携事業を活用しながら相互の特産物交流を検討したい。



学校給食

産業厚生常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「町道の路線の一部変更について」「町道の路線の廃止について」「町道の路線の認定について」「高森町避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について」「高森町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について」「令和3年度高森町一般会計補正予算について」「令和4年度高森町一般会計補正予算について」令和3年度特別会計補正予算、令和4年度特別会計予算について、担当者より詳細に説明を受け審議した結果、付託されたすべての議案を可とした。

◎高森町避難行動要支援者名簿に関する条例制定について

本件は災害対策基本法の一部改正を受け、個別避難計画の策定が努力義務となったことによる名簿作成に関する条例制定であると説明を受けた。

- ・名簿は町と社会福祉協議会が作成する
- ・厳重な名簿管理をする
- ・運用の際は関係機関と協議を

行うこと

要支援者の現状把握と素早い安全確保に繋がる条例制定であり可とした。

◎令和3年度高森町一般会計補正予算について

補正予算については事業確定などに伴う補助金・負担金の減額が主であり可とした。

◎令和4年度高森町一般会計予算について

【主な質疑応答】
質 高森町橋梁長寿化対策事業の内容を伺う。

答 当町にある112箇所の橋が検査対象になる。近接目視点検を実施し、1～4の数字判定をする。

危険度は4が最高で3以上の



橋梁検査

判定になった場合は補修に着手しなければならない。来年度以降に工事費の急増が見込まれるため、片山・下山線の工事を繰り上げた。

国からの補助金と過疎債や地債を使い、一般財源からの持ち出しを極力減らす。

質 シニアカー利用推進事業補助金について伺う。

答 シニアカーの更なる利活用を推進するため、町内の事業所に対して専用カーポートの設置、専用駐車場の整備、電源設備の設置など、利用推進に資する事業に40万円を上限に補助する。これからは運転免許証の返納や独居高齢者が増えていくことも想定され、外出機会の創出を更に推進していく。



シニアカー広報PR中

質 農地集積促進事業補助金について伺う。

答 現在も、口頭契約による農地の貸借が多くみられる。また、口頭契約では国の施策に対応ができない点があり解決すべき課題となっている。この口頭契約の解消と農地バンクの利用促進を推進するため、に創設した補助金である。



農地集積

【その他】
質 新型コロナウイルス接種状況について。

答 令和4年3月7日時点で1回目接種が91・8%、2回目接種が91・2%、3回目については59・9%の接種率である。

5歳～11歳の小児接種は西原村と南阿蘇村との合同での集団接種を考えている。小児科医の確保など阿蘇郡市医師会と相談の上で実施予定である。

令和4年 第1回臨時会

(令和4年1月12日開会)

令和3年度一般会計補正予算(第13号)

7億6,084万2千円を追加

※主にふるさと応援寄附金の増額による補正

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業

【支給対象者】

- ①住民税非課税世帯
- ②家計急変者

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯。

【支給額】

1世帯当たり10万円

事業費	補助額	一般財源
1億3,300万円	1億3,300万円	0円

令和4年 第2回臨時会

(令和4年2月16日開会)

令和3年度一般会計補正予算(第14号)

3億8,483万6千円を追加

※主にふるさと応援寄附金の増額による補正

地籍調査事業

令和4年度に実施予定としていた調査を前倒して実施。

【事業内容】

大字永野原の21字1.36km²を現地調査予定。

【今回予算化された理由】

国の経済対策において、「迅速な災害復旧・復興、社会資本整備の基盤となる地籍調査の推進」が組み込まれ、例年どおり当初予算で計上するよりも採択率が上がるため。

事業費	補助額	一般財源	交付税措置	実質負担
8,430万円	6,311万円	2,119万円	1,683万円	436万円

町民の声



津留 工さん
(高森・津留)

25年間のサラリーマン生活終了後、平成10年に水稻栽培の後継者として就農しました。当初は何も解らず、様々な失敗も経験しました。しかしそのような時でも集落の方々より温かい指導や具体的なアドバイス等をいただくことが出来て助かりました。現在でも試行錯誤しながら営農しています。

最近は何を取ってからの労力に不安を覚え、農機具メーカーと連携した『スマート農業』に取り組んでいます。コーティング種子の直播き、ドローンを活用した除草剤散布、食味・水分・収量などのセンサーを搭載した機械の導入など、長年の勘だけに頼らずデータに基づいた栽培を心掛け、次年度の参考にしています。お陰様で品質重視の栽培が口コミにより各方面へと広がり、自動車販売会社の成約プレゼントとして採用されるなど、ネット環境を利用した販路拡大に繋がっています。

世界情勢が不安定な昨今ですが、若い農業者の方々も様々なことにチャレンジして欲しいと思います。

今後はオリジナルブランド米の開発など、よき理解者でもある愛妻といたわり合いながら、80歳代まで頑張っていこうと思います。

また、集落あつての我が家。皆で話し合いながら楽しい日々を過ごしていきたいものです。



伊東 義昭さん
(野尻・小鶴)

新型コロナ感染でいろいろな行事が中止になり、それだけでなくも当地区の催し物は衰退の一途になっています。現在は関係者の皆様方による懸命の努力により、どうか持ちこたえている状況です。何とか打開策を見いだしたい処ですが、いかんせん町内最高齢地区であり、地元で従事出来る職場も限られ若い人たちの定住が見込めません。だいぶ前になりますが北九州から来た従姉妹が「余り静かすぎて眠れない」と言った事があります。これから先は、こうした自然環境に恵まれた地の利を生かしネットで仕事出来る会社など呼び込む事が出来ればと思います。以前の通信環境はパソコン通信から始まり電話回線を利用して、ちょっとしたダウンロードでも30分位かかっていました。

その後ADSLなどブロードバンドが登場しましたが、高森地区は使えても野尻地区では相当後まで回線の延長はありませんでした。

インターネットの普及で随分便利になりましたが、それでもページを開くのが遅くやっぱり僻地は不自由するなとつくづく思いました。

でも現在、草村町長の努力で高森町全体に光回線が張り巡らされ、ポイントチャンネルをはじめネットもストレスなく見れます。こうした事を踏まえ、少しでもリモートワークの出来る人たちが来てくれる事を期待しています。

天草市を訪問しました

4月17日～18日に高森町議会において牛深ハイヤ祭りと天草市議会の視察研修を実施しました。天草市議会のタブレット議会に関する取組みの紹介ほか、議会同士の横軸連携についても活発な意見交換が行われました。



議会事務局職員紹介



4月の人事異動で議会事務局長を命ぜられました荒牧久です。初めての部署と言う事で、至らない点等あるかと存じますが、円滑な議会運営の支援に努めて参りますので、よろしくお願いします。

庶務係長の篠田江吏子です。議会事務局の仕事は初めてですが、議会が町民の皆様にとってより身近なものとなるよう、業務に取り組んで参りますので、よろしくお願いします。



編集後記

「花はどこへいった」

皆さまはこの歌を聴いたことはありますか。

私はリレハンメルオリンピックの女子フィギュアスケートでこの曲に乗せて、平和を願い演技した選手の事が今でも印象に残っています。

人間は戦争という愚かで残虐な行為をいつまで繰り返すのか？

人の繋がりを絶ち、財産を焼き尽くし、文化や遺産を破壊する行為が一刻も早く終わる事を願っています。

広報委員 後藤 巖

議会広報特別委員会

議長 佐伯 金也（発行責任者）

委員長 牛嶋津世志 委員 津留 智幸

副委員長 後藤 清治 委員 後藤 巖

